みなと物語

池島小学校

池島小学校は、昭和50（1975）年に三先小学校と八幡屋小学校から分かれて誕生し、最初は1年生から3年生まででスタートしました。

今回は、昭和48（1973）年に三先小学校に入学し、3年生のときに開校に伴って池島小学校に移られた1期生の松尾幸治さんにお話をうかがいました。

松尾幸治さん

池島小学校ができたときは校舎がひとつあるだけでした。その校舎の1階に職員室、保健室、給食室があり、上の階は全部各学級の教室で、音楽室などの特別教室はまだありませんでした。最初の夏休み直前にプールが完成し、さらに講堂や別の校舎も建てられていったので、卒業するまでずっと何かの工事が行われていました。

6年生のときの運動会

今小学校がある場所には、私も住んでいた平屋の市営住宅がありました。そのため、土を少し掘ると、元の市営住宅の屋根瓦や石ころや工事のときのゴミがまだ残っていて、体育の授業のはじめにはいつもゴミ拾いをしました。はじめての運動会をやることになったときは、こども、先生、保護者みんなで運動場の瓦礫集めをしないといけなかったので、当日よりも準備の方が大変でした。運動会が終わったときには、校長先生が涙ぐんでおられたのを覚えています。

池島小学校では上の学年がいなかったのでずっと最上級生でした。6年生のときにやっと全学年が揃い「開校記念式典」が行われました。まず、劇や歌を発表する学芸会があって、その2週間後に式典がありました。式典の1ヵ月後が卒業式でした。

校歌も開校記念式典にあわせてつくられました。作詞は全職員が考えられて、作曲は杉村先生がされました。歌ができた時には、クラスから数名ずつが選ばれて練習をし、放送室で録音しました。今でも校歌はそらで覚えているので、2人のこどもが池島小学校に入学したときには、私が歌って教えました。

開校記念式典

※写真はいずれも卒業記念アルバム（昭和54（1979）年3月）より